# ５　草加あおぞら保育園　園の自己評価

## ①　法人理念

社会福祉法人わかば会は子どもの最善の利益を尊重しその保護者の就労と地域の子育て支援を目的として経営を行い地域の福祉を積極的に推進する

## ②　令和７年度草加あおぞら保育園の保育方針

１　季節を五感で感じ、遊びや制作など様々な活動を通して子ども達の豊かな感性を育て、子ども自身が主体的活動をできるよう環境を整える
２　身だしなみ、挨拶、言葉遣い、整理整頓、清掃を心掛け、子ども達の見本となる
３　専門的知識を持って子どもの安心・安全を守る
　愛情を持って一人一人の発達や心情、意欲を理解し、子どもと同じ目線に立って寄り添い、肯定的な言葉掛けを持って育む

## ③　令和７年度目指す子ども像（園目標）

１　礼儀正しくけじめのある子
２　仲間と共に育ちあう心豊かな子
３　目標にむかってがんばる子

## ④　令和７年度求める子どもの姿

| | |
|---|---|
| 健康な心と体 | 保育所の生活の中で、充実感を持って自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しを持って行動し、自ら健康で安全な生活を作り出すようになる |
| 自立心 | 身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行う為に考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信を持って行動するようになる |
| 協調性 | 友達と関わる中で、互いの思いや考え等を共有し、共通の目的の実現に向けて考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感を持ってやり遂げるようになる |
| 道徳性・<br>規範意識の<br>芽生え | 友達と様々な体験を重ねる中で、して良いことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場になって行動するようになる<br>また決まりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いをつけながら、決まりを作ったり、守ったりするようになる |
| 社会性との<br>関わり | 家族を大切にしようとする気持ちを持つと共に、地域の身近な人と触れ合う中で、自分が役に立つ喜びを感じ地域に親しみを持つようになる<br>保育所内外の様々な環境に関わる中で、遊びに必要な情報を取り入れ、その情報に基づき判断したり、伝え合ったり、活用したりする<br>公共の施設を大切に利用する等して、社会との繋がりを意識するようになる |
| 思考力の<br>芽生え | 身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組み等を感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりする等、多様な関わりを楽しむようになる<br>また友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりする等、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えもより良いものにするようになる |
| 生命の尊重<br>自然との<br>関わり | 自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化等を感じ取り、好奇心や探求心を持って考え、言葉等で表現しながら、身近な事象への関心が高まると共に、自然への愛情や畏敬の念を持つようになる<br>また身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にする気持ちを持って関わるようになる |
| 量・図形・<br>文字等数 | 遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字等に親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚を持つようになる |
| 言葉による<br>伝え合い | 保育士等や友達と心を通わせる中で絵本や物語等に親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたこと等を言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる |
| 豊かな感性と表現 | 心動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方等に気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲を持つようになる |

⑤　評価

| 自己評価の基準 | | | |
|---|---|---|---|
| Ａ　よくできた | | | |
| Ｂ　ほぼできている | | | |
| Ｃ　次年度以降努力義務 | | | |
| 領域 | 評価の観点 | 自己評価 | |
| 運営体制 | １　能率的、合理的な運営組織になっているか | Ａ | |
| | ２　職務内容が明確で協働できる体制か | Ａ | |
| | ３　職員の配置は適材適所か | Ａ | |
| | ４　行事の分担や担当の振り分けは適切か | Ａ | |
| | ５　各種会議を適切かつ効率的に進めているか | Ａ | |
| | ６　職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し協力や助言をし、施設の運営に関わっているか | Ａ | |
| | ７　打ち合わせ回数、時間、内容は適切か | Ａ | ・毎日の朝礼で情報の共有を図ることができた<br>・朝礼の内容を回覧することで出勤していない職員も次の出勤日に確認することができた |
| | ８　保育方針の周知・反映はできているか | Ａ | |
| | ９　開かれた園の運営をしているか（地域への保育公開） | Ａ | ・公開保育を年２回に増やし、広報活動を広げたことで多くの方に園を公開することができた |
| 保育目標 | １　保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか | Ａ | ・年３回の園内研修時に成果を確認し、園児の発達に即した目標の設定をすることができた |
| | ２　目標は各施設や地域の特色を生かしているか | Ａ | |
| | ３　目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか | Ａ | |
| | ４　目標は前年度の反省を生かしているか | Ａ | |
| | ５　目標は全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか | Ａ | ・全体会議や年３回の園内研修を通して共有化を図り保育に取り組むことができた |
| 保育計画 | １　指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか | Ａ | ・年案、月案、週案は日々確認し、実践時の成果を確認することができた |
| | ２　保育所保育指針に基づく援助、支援を適切に行っているか | Ａ | ・研修日には常に保育指針に沿って適切か検討し支援を進めている |
| | ３　環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか | Ａ | ・園の立地に応じた素材を制作活動に生かすことができた |
| | ４　素材・用具を適切に活用しているか | Ａ | ・年齢に応じた素材検討や用具の使い方について話し合い共有することができた |
| | ５　評価結果を基に保育の改善に努めているか | Ａ | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 年齢別・クラス経営・日々の保育 | １　年齢別・クラス目標は保育目標や重点目標に基づいて設定できているか | A | |
| | ２　年齢別・クラス目標は乳幼児の実態に即して設定しているか | A | |
| | ３　年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか | A | |
| | ４　同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか | A | |
| | ５　意義や趣旨を理解した保育を行っているか | A | |
| | ６　質の高い保育の提供意欲はあるか | B | ・一人一人の発達に応じた保育の提供をしていく |
| | ７　指導の工夫改善をしているか | A | |
| | ８　気になる子への対応は適切か | A | ・事例研修を実施し保育に活かすことができた |
| | ９　特色ある教育活動を取り入れているか | A | |
| | １０　１日の流れは現行で良いか | A | |
| | １１　伸び伸びと遊べる環境提供ができているか | B | ・室内での保育活動は充実してきている為園外活動の内容を検討していく |
| | １２　道徳性の芽生えができるような取り組みをしているか | A | ・日々の活動で「思いやり」「協調」を意識して取り組むことができた |
| | １３　年齢に合わせた生活習慣指導ができているか | A | ・月齢を意識した取り組み方が定着できるように努めている |
| | １４　身近な人への親しみが持てるような取り組みをしているか | A | |
| | １５　幼児の人間関係は円滑か | A | |
| | １６　子どもと保護者と保育者の信頼関係は築けているか | A | ・電子連絡帳を通して連携を取ることができている |
| | １７　園児は園への適応をしているか | A | |
| | １８　年齢に応じた食育活動を行っているか | A | ・箸や食器の持ち方を指導し、正しい持ち方で食事をすることができた |
| | １９　主体的に学びが芽生えるような取り組みを行っているか | A | ・子どもが自ら考え、想像性が働くような活動を提供することができた |
| | ２０　体力が向上するような活動をしているか | A | |
| | ２１　振り返りや発達の記録を適切に集積できているか | A | |
| 行事 | １　行事の種類や実施回数は適切か | A | |
| | ２　行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか | A | |
| | ３　乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動をしているか | A | |
| | ４　計画・実施・評価・改善の体制をとっているか | A | ・各行事の評価や改善を適切に行い、工夫することができた |
| | ５　保護者の願いや意見を取り入れているか | B | ・行事や保護者アンケートの結果を活かし、保護者の意見を取り入れ改善していく |
| | ６　行事への取り組みは全職員共通理解のもと進めているか | A | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 保健・安全指導 | 1　年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか | A | |
| | 2　避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施しているか | A | ・年間の計画に基づき、安心安全を意識した訓練が実施できた |
| | 3　健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成の為家庭への啓発を行っているか | A | |
| | 4　乳幼児の安全確保の為家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか | A | |
| | 5　年齢に合わせた健康・安全指導を行っているか | A | ・看護師、保育者が協力し適切な指導ができた |
| 研究・研修 | 1　研修・研究主題は保育目標の具現化につながるものであるか | A | |
| | 2　園内研修の計画・運営は適切か | A | |
| | 3　研修・研究の成果を日常の保育に活かし、乳幼児の育ちに反映させているか | A | |
| | 4　研修・研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか | A | |
| | 5　外部の各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか | A | |
| | 6　外部の各種研究会、研修会、講習会の内容を園内で共有しているか | A | |
| 情報 | 1　乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか | A | ・指定の場所に保管し閲覧等の決まりを設けている |
| | 2　公文書収受、発送、処理を適切に行っているか | A | |
| | 3　各表簿は適切な時間・方法で作成・処理しているか | A | |
| 施設・整備 | 1　施設・設備の安全点検を計画的に行っているか | A | ・毎月の点検を迅速に行い、安全管理を徹底することができた |
| | 2　遊具・用具等を活用しやすいよう整理・保管しているか | A | ・常時整理整頓に努めることができた |
| | 3　不審者等への対策を機関と連携し行っているか | A | ・警察と連携して訓練を実施することができた |
| | 4　衛生環境の整備に配慮しているか | A | ・毎日の消毒を分担して行うことができた |
| | 5　掲示板、掲示場所等を適切且つ効果的に活用しているか | A | ・各クラスボードを使用し連絡事項を周知することができた |
| 出納経理 | 1　各種会計を適切且つ適正に処理しているか | A | |
| 保護者 | 1　保護者との連携は取れているか | A | |
| | 2　親支援となる活動を行っているか | A | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施設間交流・連携 | 1　他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に沿ったものか | A | |
| | 2　他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わう事ができるような配慮や援助・支援を行っているか | A | |
| | 3　指導者同士が打ち合わせや事前研修・合同研修を行い互いの保育・教育に対しての理解を深め、援助について共通理解を図っているか | A | |
| | 4　参観や保育・授業等に参加するなどして幼稚園・小学校の教育を理解しているか | A | ・小学校の授業参観や行事等に参加し、理解を深めることができた |
| | 5　日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか | A | |
| | 6　幼保小中と連携した事業を行い、子ども教育連携推進に取り組んでいるか | A | ・小学校との給食交流や触れ合い活動が定着し、就学に期待が持てるような取り組みができた |
| 家庭・地域社会との連携 | 1　参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか | A | ・地域に向け公開保育を年２回実施し、園への理解を深めてもらうことができた |
| | 2　保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か | A | |
| | 3　乳幼児の興味関心に基づいて地域社会その他施設と交流しているか | A | ・近郊の高齢者施設と対面での交流をすることができた |
| | 4　地域の行事に積極的に参加し地域の文化や生活に触れているか | A | ・毎月自治会の廃品回収事業に参加し地域との繋がりを深めることができた |
| 子育て支援の推進 | 1　地域の子育て支援の場として園庭や交流事業を実施しているか | A | ・園庭開放、子育て相談会を実施できた |
| | 2　地域に住む子ども同士あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定をしているか | A | |
| | 3　「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか | A | ・子育て講座として地域や保護者を対象として年６回実施することができた |
| | 4　職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか | A | |
| | 5　医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り保護者にとって必要な情報を提供しているか | A | |
| 情報の発信 | 1　園の公開に努めているか（自己評価の公表等） | A | ・保育の地域公開を年２回も設け、自己評価はホームページに掲載し、積極的に公開することができた |
| | 2　保育園のお便り・ホームページ等で施設の情報を発信しているか | A | |
| | 3　行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか | A | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 園内・外部評価 | 1　保育の評価を行っているか | A | |
| | 2　第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか | C | ・予算等も含め検討していく |
| | 3　地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか | A | |

⑥　総合評価と次年度への課題

・保育所保育指針に沿った、外部研修や園内研修を計画的に実施し、保育の質の向上に努めることができた
・園内研修では保育所職員としての子どもへの関わり方や職員同士の関わり等、組織力を意識した研修を実施することができた
・キャリアアップ研修に多くの職員が参加することができた
・５年次未満、経験者研修など回数を重ね、経験に応じて保育の質の高め方を検証することができた
・近隣の保育施設、小学校と「学びの連続性」を協議したことで、就学前の園児や保護者の不安を少しでも解消することができた
・職員が自覚を持って職責を果たせるように組織構成の改善に努める